

臨床データ利用のお願い

豊田厚生病院では、以下の研究を実施しております。本研究の対象者に該当する可能性のある方で、カルテ情報を研究目的に利用されることを希望されない場合など、お問い合わせがありましたら以下の問い合わせ先にご連絡ください。

1. 研究課題名

Extended-spectrum β -lactamase 産生菌による腎盂腎炎に対する Cefmetazole の有効性に関する検討

2. 研究責任者

豊田厚生病院 薬剤部 大岩由香里

3. 研究の概要

Extended-spectrum β -lactamase (以下:ESBL) 産生菌は第 3 世代セファロスポリンをはじめとする β ラクタムを分解する酵素を産生する菌であり、現在世界中に著しい広がりを見せています。日本でも ESBL 産生菌は広がっており、主として第 3 世代セファロスポリンへの耐性機構をもつ腸内細菌科のグラム陰性桿菌が問題とされています。

現在 ESBL 産生菌に対して効果を示す抗菌薬としてはカルバペネム系抗菌薬があり、標準治療として使用されています。しかし、カルバペネム系抗菌薬の使用量増加に伴うカルバペネム耐性腸内細菌科細菌 (Carbapenem Resistant Enterobacteriaceas, 以下:CRE) などカルバペネム系抗菌薬に対する耐性菌が問題となっており、ESBL 産生菌に対してカルバペネム系抗菌薬以外の抗菌薬の有効性について検討が行われています。

そのため、本研究では ESBL 産生菌に対する CMZ の有効性をカルバペネム系抗菌薬と比較・検討を行うことを目的とします。ESBL 産生菌に対し CMZ の有効性がカルバペネム系抗菌薬に劣らないことが証明された場合、カルバペネム系抗菌薬の使用量抑制に繋がり、CRE 等のカルバペネム耐性菌の出現が抑制されることが期待されます。

4. 研究の方法

①対象となる患者さん

研究対象期間とする 2014 年 1 月 1 日から 2019 年 3 月 31 日の間において、以下のすべての項目を見たす患者さんを対象とします

- 1) 血液培養より ESBL 産生菌が検出された患者さん
- 2) 腎盂腎炎と診断された患者さん
- 3) 腎盂腎炎に対して使用された注射用抗菌薬使用期間のうち、50%以上の期間でカルバペネム系抗菌薬あるいは CMZ が使用された患者さん

②調査項目

電子カルテから下記の情報を調査します。

身体所見(年齢等)、発生場所、ICU 入室の有無、手術歴、現病歴、合併症、移植歴、薬剤使用歴、血液透析有無、尿道留置カテーテル等留置有無、抗菌薬投与期間、敗血症重症度分類等

5. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

研究責任者：豊田厚生病院 薬剤部 大岩由香里

〒470-0396

豊田市浄水町伊保原 500-1

電話：0565-43-5000（代表）